

日本・北アフリカ学長会議がチュニジア共和国ガマルタで開催される



2010年5月14日(金)、日本・北アフリカ学長会議(Japan - North Africa University Summit、主催：日本・北アフリカ学長会議実行委員会)がチュニジア共和国ガマルタの Hotel El Mouradi Gammarth で開催されました。この会議は「次の10年に向けての学術交流の新展開 (New Phase of Academic Cooperation for the Next Decade)」をテーマに、日本から17大学3機関、北アフリカ側から19大学・高等教育学院(エジプト1、リビア3、チュニジア7、アルジェリア3、モロッコ3、モーリタニア2)の学長、副学長、大学代表者ほか総勢67名が参加しました。

会議は Jemaiel BEN BRAHIM 学長会議実行副委員長(カルタゴ11月7日大学長)の歓迎の挨拶、山田信博学長会議実行委員長(本学学長)の開会宣言、多賀敏行在チュニジア日本国大使および Bechir TAKKARI チュニジア高等教育・科学研究大臣による来賓



挨拶で幕を開け、ついで徳永保文部科学省高等教育局長、本学の元学長でノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈横浜薬科大学長による基調講演が行われました。

会議セッションは3つのサブテーマに沿って全体セッションの形で行われました。第1セッションでは「教育・学生交流の展望」をテーマに、Edgar PORTER 立命館アジア太平洋大学学長特命補佐の進行で、日本側からは亀山郁夫 東京外国語大学 学長、勝悦子 明治大学 副学長、片山卓也 北陸先端科学技術大学院大学 学長、安藤昭一 千葉大学 副理事、田尻嗣夫 東京国際大学 学長(発表順、以下同じ)、北アフリカ側より、Abdelhamid LOTFI アル・アフワイン大学 学術担当副学長(モロッコ)、Ali Mohamed BURHANA セブハ大学 学長(リビア)、Esserrhini FARISSI シィディ・モハメド・ベン・アブダッラー大学 学長(モロッコ)、Ahmed KHAIRY エジプト日本科学技術大学 学長(エジプト)、Fatima LARABA-DJEBARI ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学 生物学部長(アルジェリ

ア)、Ahmed Noureddine HELAL スース大学 学長 (チュニジア)、Youssef OTHMANI ブルギバ現代言語学院 学院長 (チュニジア) がそれぞれの大学の取り組みを紹介しました。

「研究交流の展望」をテーマとした第2セッションでは、松岡守 三重大学 副学長の進行により、日本側から江川雅子 東京大学 理事、新原皓一 長岡技術科学大学 学長、古田勝久 東京電機大学 学長、前田秀一郎 山梨大学学長、江崎 信芳 京都大学 副学長が、北アフリカ側は Hamed BEN DHIA スファックス大学 学長 (チュニジア)、Mohamed ABOUSSALAH カディ・アイヤード大学 理工学部長 (モロッコ)、Hadi A. ELAKRAMI アル・ファタ大学 学長 (リビア)、Ould Ahmed-Izid-Bih ISSELKOU スアクショット大学 学長 (モーリタニア) が発表しました。



第3セッションは宮田隆司 名古屋大学 副総長の進行により、「開発援助の枠組みにおける大学の役割」をテーマに行われ、ゲストスピーカーの黒川清登 JICA 研究所 研究員が技術協力事業における JICA と大学の連携の枠組みと事例、技術協力事業における JICA と大学の連携の枠組みと事例を紹介しました。また、日本側から山田信博 筑波大学 学長、小畑秀文 東京農工大学 学長が、北アフリカ側から Khemaies ZAYANI 環境高等学院 学院長 (チュニジア)、Bouya Ahmed OULD AHMED 高等技術学院 研究員 (モーリタニア) がそれぞれの大学の活動を紹介しました。

最後に、閉会式において塩尻和子 日本・北アフリカ学長会議実行副委員長 (本学国際担当副学長) による閉会挨拶の後、Jemaiel BEN BRAHIM カルタゴ 11 月 7 日大学 学長が共同宣言を読み上げました。この共同宣言では学術的意義ならびに人材育成の面において、日本と北アフリカ諸国の大学がさらに教育・学術交流を深めることについてお互いに必要性和意義を認め、1) 大学間交流協定の締結の促進、2) 学生・教員の人的交流の促進、3) 共同研究の促進とそのための研究資金の獲得、4) 日本・北アフリカ合同学術セミナーの積極的開催、5) 海外拠点活動を円滑に進めるための現地の法制度的枠組みの確立、に向けて相互努力を進めることをうたっています。



会期中には JICA と日本の大学の連携による技術協力が進められているボルジュ・セドリヤ・テクノパークや本学の海外拠点である北アフリカ・地中海連携センター視察などのプレカンプレナツアも組まれました。

(文責：筑波大学国際部 森尾貴広)